

第7章 地場産業の育成

—— 農業・漁業・商業の発展 ——

本村の農業は、近世以来サトウキビあるいはサツマイモの一大産地であった。そんな中で楚辺の比嘉次郎は島荻から病害虫に強く多収量の「読谷山種」を作りだした。また、比謝の佐久川清助はサツマイモを品種改良し「佐久川」を生みだし農林大臣から顕彰された。このように農業では進取の気質を持ってる読谷村である。現在、読谷村の農業は基幹作物であるサトウキビ・花き・サツマイモ、それに養豚畜牛を組み合わせた複合農業を営み、畜産では「豚どこ読谷」で知られている。一時期衰退の兆しが見られた農業も復帰を境に新たな施策が打ち出され、農業基盤の整備が始まった。座喜味、渡具知、波平、高志保、渡慶次、儀間、宇座、長浜の土地改良総合整備事業がそれである。近年、商工会（1973年創立・株式会社ユンタンザを1992年興す）によるユンタンザむらおこし物産展等で読谷山紅芋を主に特産品化と商品開発が特に顕著に見られる。漁業は都屋漁港が国の漁港整備事業によって20トン級漁船の接岸が可能になり近代的な漁港として整備された。



農業、農協

309 牛馬鋤耕作で生産アップを図り、農事実行組合主催の馬耕講習会が各地で行われる。楚辺出身の大湾トキ。1941年(昭和16)。



310 昭和6年に比謝町に設立した保証責任読谷山村信用販賣購買利用組合。

311 馬鍬による耕作風景。
今ではトラクターによる耕作が主流である。
1957年（昭和31）頃。



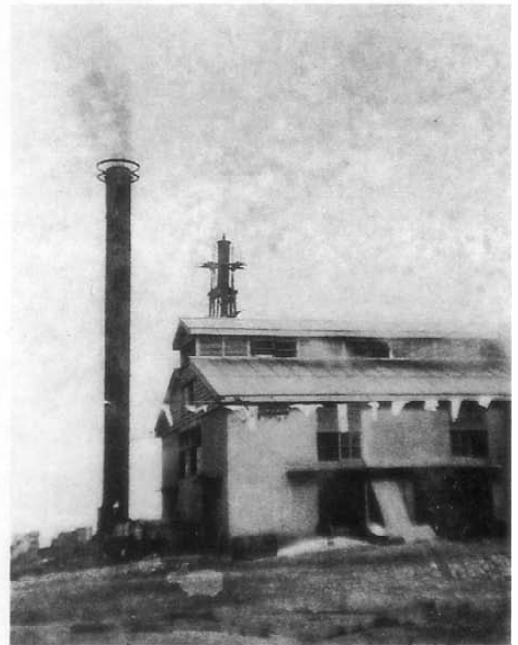
312 農業と生活に密着した農産物・堆肥等の審査にあたる原山勝負の審査員、各区長の皆さん。
1958年（昭和33）。

313 砂糖きびの栽培管理について糖業講習会が開かれる。宇座の山内さんの圃場を見学。1958年（昭和33）7月8日。

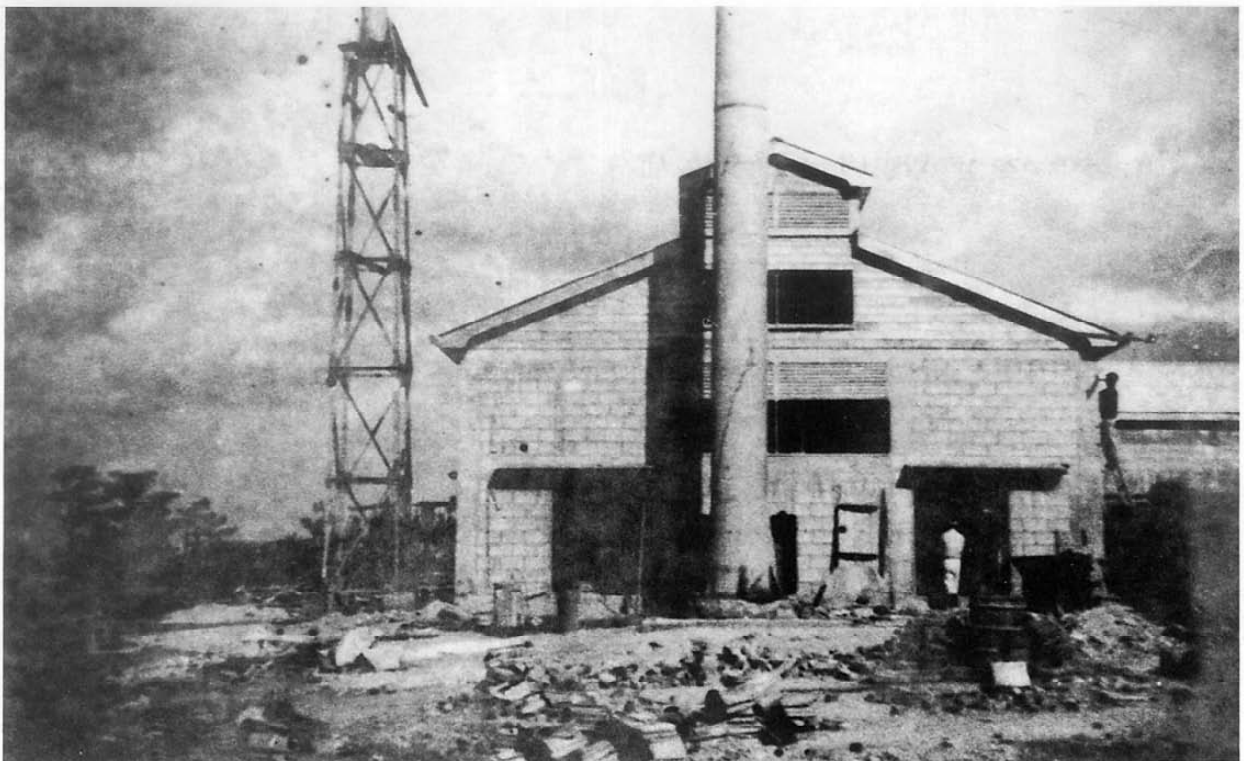




314 サーター屋。

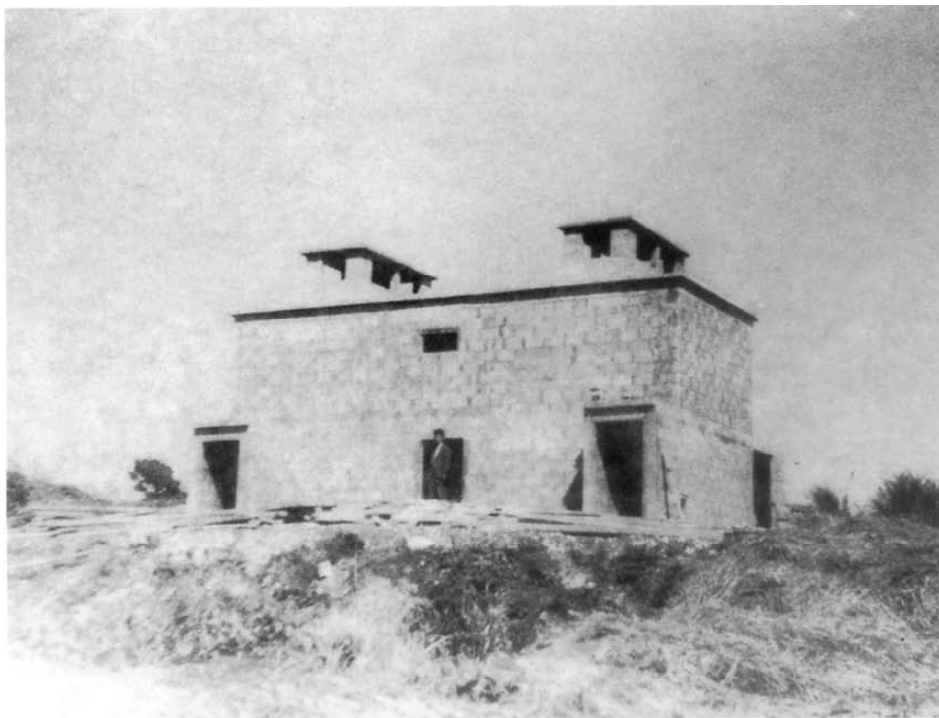


315 高志保の50トン製糖工場。



316 稼働中の読谷村農協の高志保50トン製糖工場。1957年（昭和32）の建設。

317 波平の葉タバコ乾燥場。
1959年（昭和34）。



318 楚辺の葉タバコ乾燥場。楚辺
葉煙草組合は沖煙社と1959
（昭和34）業務締結。



319 産業共進会展示会場に
役場庁舎が当てられた。
1958年（昭和33）。

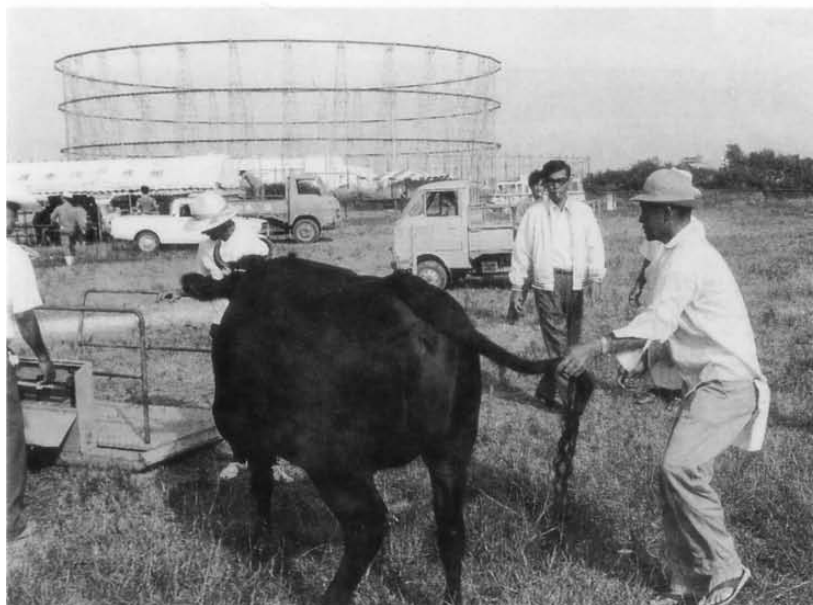


320 産業共進会展示風景。



321 読谷沖映で行われた第
12回読谷村産業共進会
の褒賞授与式。総合共
進会に宇渡慶次が優勝
する。1962年（昭和37）
4月9日

322 畜牛の展示風景。



323 波平の楚辺通信所近くで
行われた第1回畜産まつり。
1973年（昭和48）10月27日。

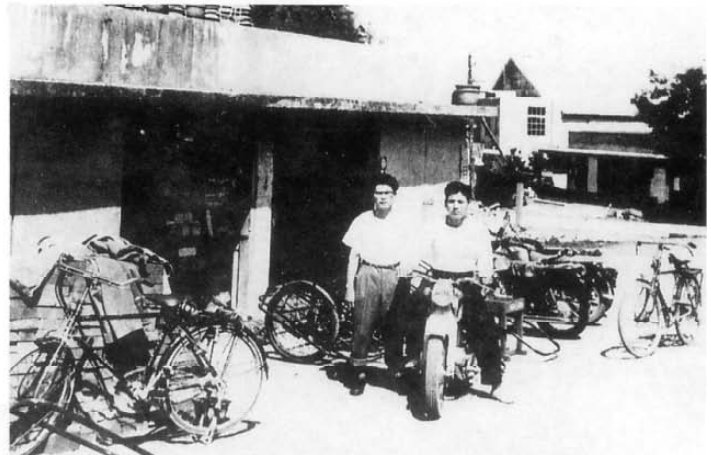
324 牛豚の品質を競う畜産まつり。本村の畜産は「豚
どころ読谷」で知られる
繁殖豚と優良品種を導入
した肉用牛が主体をなし
ている。





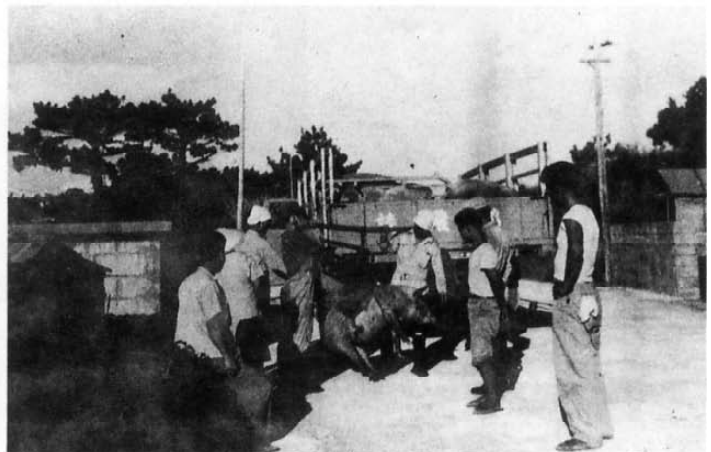
325 読谷村農協の役員・職員、
大島へ牛購入へ。
1961年（昭和36）12月。

326 役場敷地東にあったころの
読谷村農協事務所。1963
年に役場併置となる。

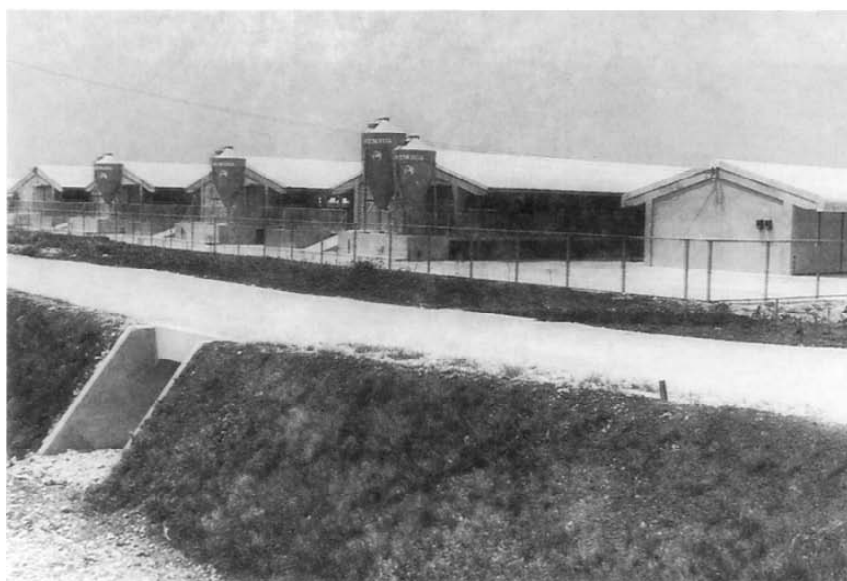


327 読谷村農協の事務所前にて。

328 大湾の農家の出荷豚を
計量している農協職員。



329 製糖工場倉庫より馬鈴薯を
配達にでる農協職員。



330 高志保の農協直営養豚場の
肥育・繁殖舎。
1985年（昭和60）4月完成。



331 完成した村農協本所。1963年（昭和38）12月完成。



332 渡具知土地改良総合整備
事業が完了し、ビニール
ハウスでのすいか・メロ
ン・トマト・ピーマン・
菊の管理栽培がなされて
いる。



333 農協の共同集荷貯蔵施設
に渡具知、大湾、宇座、
渡慶次から集められた夏
作メロンを出荷、県内市
場の半分以上のシェア
を占める。
1990年（平成2）5月。



334 座喜味前田地区小規模土地
改良地区での小菊栽培。



335 特産品の読谷山紅いもの生産拡大を図り「紅いもの里」づくりをめざしている。
1991年（平成3）4月。



336 ヒット商品となった紅いも菓子。
むらおこし物産展。
1992年（平成4）5月14日。



337 ユンタンザむらおこし物産展のテナントには村内の特産品が並び人気を博した。

商工、商工会



338 マチャグラーの前で。
高志保の比嘉商店。

339 楚辺の池原商店、かつては字の多くが共同出資で共同売店をもっていた。駐車中のミゼット三輪車が懐かしい。1960年代。



340 読谷に店舗を構えた頃の最初の大城書房。現在の大城書店。
1954年（昭和29）。

341 設立間もない頃の
商工会事務所。
1975年（昭和50）
6月18日。



342 現在の商工会館。

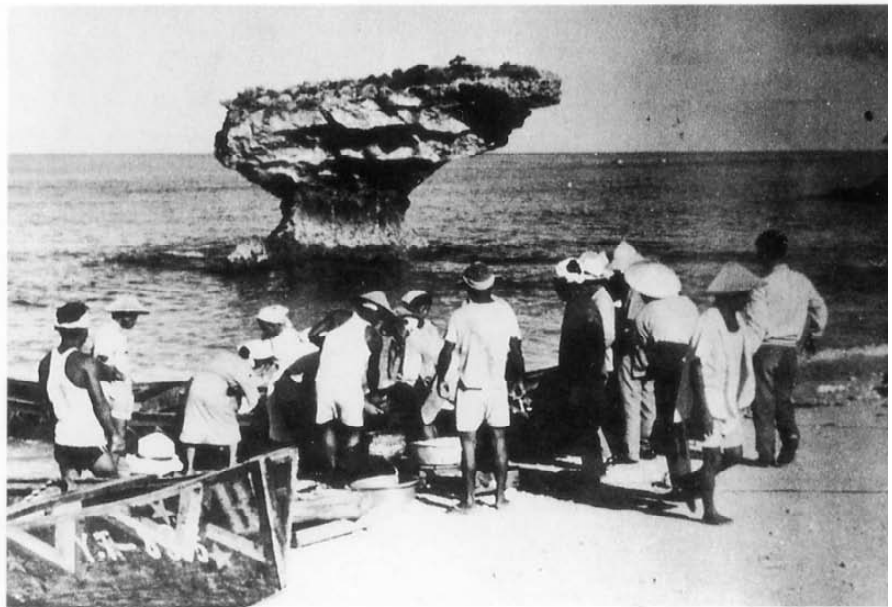
343 むらおこし会社「株式会社
ユンタンザ」の新商品発表
会。紅いもを素材にした商
品のショールームのオープ
ニングセレモニーが行われ
た。
1992年（平成4）9月26日。



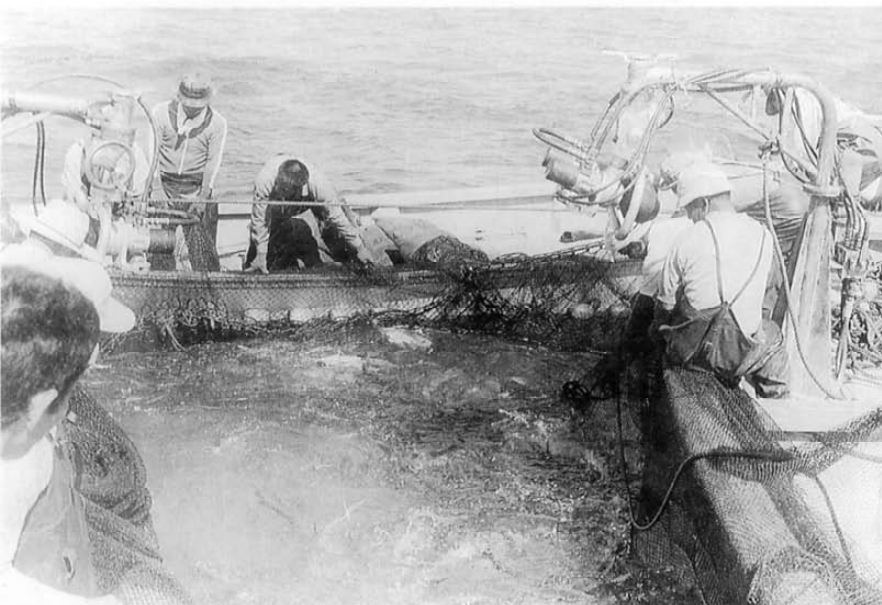
漁業、漁協



344 読谷村漁業協同組合事務所（都屋漁港）。
1961年（昭和36）10月。



345 都屋ガジラーシーの
前の船着き場に水揚げする漁師。
1964年（昭和39）。



346 読谷漁協の自営事業の
イナンビシ沖合いの大型定着網漁は空前の豊
漁に恵まれた。
1980年（昭和55）5月。

347 都屋漁港の浚渫工事は1952年度政府補助事業で、船揚場の新設は1963年事業であった。



348 朝の競市で漁港に水揚げされた魚介類が次々に競り落とされ活況を呈している。
1990年（平成2）6月。



349 近年整備された読谷漁港。